

刊夕 日八十月十

# 常 新 日 報

定價 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
廣告料 五號十二字 第一行 五元 五號  
日曜 祭日の翌日 休刊  
發行所 警城日報社 警城 文  
印刷所 警城日報社 警城 文  
電話 六三〇番

## 伊藤公三

### ビスマルク

官僚政治と政黨政治  
堀切 善兵衛

(五)

斯う見て來ると伊藤公の偉さがわかる。日本の憲法は専らプロイセンの憲法を土臺にして編みあげたといはれたとあるが、伊藤公はこの憲法の運用には政黨政治ならざる可らずとして政黨會を造られたのである。而して、政黨政治になると政黨の首領に大命が下ることになるから、カイザーが極めて僅かの官僚中より自分のお気に入りかお気に入りのお氣に入りに入りを選んで大命を下すのは非常

## ノート

太陽の明るさは二十萬燭光の電燈をメートルの處に置いた強さと同じだとは眩し過ぎて想像がつかぬ。液體空氣の中にゴム毬を入れると忽ち固化するそれを床に投げつけると電球同様に粉微塵になるとは珍妙

に違ふ。政黨の首領は國民の多數が觀て拔群の政治家だとし

て居るのだから、茲に大命降下すご上御一人の見えなはすところと下國民多數の觀る所と一致合體して間違がない。即ち常に偉大な政治家が後から後からと現れ出で、其地位に就き特に民意を體して國政に當るから國家の大事に處してあやまることのないのである

【朝】味噌汁—ねぎ  
小付 うぐいす  
【書】オムレツライス  
【晚】清汁—あられ豆  
腐 松茸まつたけ 炊込御飯

事實政黨政治の國を見れば執れの國でも常に偉大な政治家が後を絶たない。即ち政黨政治は偉い政治家が自然のうちに自分の後継者を見つけて君國のために盡瘁せしむるといふ一つの制度であり、この制度なくしては、國家が一大試練に臨んで場合などには逆もこれを取り切ることは出来るものでない。

その事實は歐洲戦争が明白に證據立てゝある。政黨の發達しない國は盡く惨敗を遂げてゐる。官僚政治の總本山たりし獨逸帝國の末路は果して何うであつたかビスマルクが政黨を無視し

て超然内閣で國を治めやうとした結果は今日果して何如の状ぞ、伊藤公がビスマルクよりも思慮遠大で、君國の爲めに謀りて忠なりしとする所以は實に茲にある  
—新しい句より

▲太陽の下にははさびしき薊が一本(井泉水)  
▲さうして居れば冬の鳥  
(此君樓)

此處に二つの句を取り出して見る。此れはまるで構成の違ふ句である。同じく自然の一物を眺めやつて出た句ではあるが、前句はちよつと一段聲を張り上げて詠歎したやうな句である。後句はそれに引きかへ、淡々とつぶやいたやうな句だ。前者を火とすれば、後者は水である。前者が熱いと言へば後者は冷たいものである。

太陽が輝いてゐる。その真下に薊が一本咲いてゐる。たゞ一本だ。何んとさびしい花であらうよ！……今は冬だ。さう止つてゐる所を見れば、どうしてもしばしい灰色の冬の鳥だ。ほんとうにさびしい鳥だ。この二つの理解の相違がある。  
▲葛は葛の萩は萩の咲きこぼれたる山みち(三郎)

各婦人雜誌推賞  
S式高速度紙物器  
編物講習會 自十月二十一日(五日) 至同二十五日(五日) 五日間  
會費 一圓  
大日本編物研究會  
講師 松井富美子先生  
會場 平田町(電話一四番)  
ハシモトヤ糸店階上

二 上品な副業として収入を望まれる  
一 受講生には編物の御世話致します

## 耳鼻咽喉科専門

### 大和田醫院

平町南町一六(電話七一〇番)

## 秋と冬の 中折ボーン

優良國産品  
特選 ウール帽 ¥2.00  
フワ帽 ¥5.50  
セラフイック帽 ¥6.00  
スマートな型と色……  
御年配若人向……  
好適品豊富に取揃へ  
ツルヤ  
電一四〇

## 石炭

一俵廿二錢ヨリ  
多少に拘らず御用命下さい、直ちに配達致します。  
平町十五丁目 電四六番  
エビスヤ燃料店  
東洋火災保險株式會社平中央代理店

### 警城共濟病院

(福島縣平町) (電話六四一) 山謙一郎  
小兒科 醫學博士 石山謙一郎 (電話六四一) 山謙一郎  
婦人科 醫學博士 賀一忠  
皮膚泌尿器科 醫學博士 坂本眞一郎 (電話三七〇番)  
耳鼻咽喉科 醫學博士 前正  
花柳病科 醫學博士 山謙一郎 (電話二七二番)  
X光線科 醫學博士 山謙一郎  
衛生試驗所 醫學博士 山謙一郎  
藥局 藥局長 鈴木孝平  
事務局長 鈴木孝平

◎ 毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療  
◎ 夜間診療開始(毎夜午後十時マデ)  
◎ 病室完備 入院隨意

## かまぼこ

### お茶屋

製造  
今年も例年通り……  
相はじめました何卒御用命の程!  
平町一丁目  
お惣菜用 さつま揚 吉原揚  
電話一四一番

## 旭屋一六銀行

御扱開始  
間の抜け 旭屋一六銀行  
た質屋 旭屋一六銀行  
通三丁目 電四二五

# 社告

愛讀者各位の絶大なる御支持の裡に本紙は来月一日を以つて紙齡十二年を數へんとす。爲め當地方運動界に寄與する報恩的記念事業とし、磐陽野球聯盟及び平町軟式野球協會後援の下に菊香る明治節の佳日體育デーとして、磐女校庭に中等學校教員野球大會を開催し優勝旗爭奪のリーグ戦を展開する(詳細は追つて發表)乞ふ期して待たれよ

昭和九年十月 常磐毎日新聞社

## 磐越東線の

### 發着時間

十二月一日より改正

仙臺鐵道局で十二月一日より改正するスピードアップに依る汽車時間は磐越東線平驛の發着時間を左の如く變更されると

(平發)午前 九、〇二  
午後 一、一五  
一、一八  
七、三一  
一〇、五六  
七、四〇  
九、三五  
二、二〇  
三、五五  
六、五〇

(平着)午前  
午後

信號機の検査 平保線區では近く管内各驛に於ける信號機保安裝置の検査を左の日割で行ふと

## 冷凍魚具

平製氷の試食

平製氷會社では今回日本水産會社製造の冷凍魚貝類の特約店になつたので披露のため來る二十一日午後一時から平町谷口樓に於て地方料理旅館業者その他關係者數十名を招待して冷凍魚貝料理の試食會を開くが當日は東京本社技師來平して冷凍魚具の取扱ひ料理法等の講演がある

## 復舊工事入札

木監督所では來る二十日左記復舊工事の入札を執行する

泉村大字下川字井戸内地内(延長四十間)△江名町大字江名字中町(延長三十間)以上工事所要日數七十四日間 △小名濱町海岸防波堤(日數百十日間)

## 磐中臨時考査

磐中の第二學期臨時考査は來る二十七日より五日間全學年一齊に行れる

## 自動車検査場を

平町に新設計劃

濱三郡業者が猛運動 從來は不便が多い

最近石城郡下の自動車業は急激なる發展を遂げ車臺數は年々激増する一方であるが自動車取締規則改正に依り之等の車体検査は福島市の検査場に於てのみ取扱ふので比較的遠距離にある郡下及び双相二郡の業者からその不便を歎かれてゐたが今回石城自動車協會支部では平町に検査場設置を目論み這般幹部會を開いて協議を行つた結果

大體工事及び敷地費として一千圓、機械器具設備費二千圓、合計三千圓を計上すれば實現可能とて管内の自動車所有者から一臺につき十圓宛を醸出せしめることに内定

近く縣當局に認可方陳情することになつたが實現すれば本郡のみならず濱三郡の業者に多大の便益を與へることになるので濱三郡を打つて一九とし猛運動を開始する模様であり縣でも完全なる施設であれば許可する方針なので希望達成近きものと見られてゐる

## 子供等の爲めと

一肌抜いて考案

第二校の含嗽器美談

平第二小學校では兒童の口腔衛生設備の爲め鹽水用含嗽器を設置して全校生徒に毎朝含嗽せしめ一方風邪の豫防に當てる計畫で過般同器を五丁目酒井德實氏方に注文した處用途を聞いて酒井氏は兒童の爲めに種々考案して立派な含嗽器を作り上げ學校に寄附を申出た

第三出演兒童 既報來る廿七日午前十時より平第二小學校に開かれる郡下小學兒童唱歌會に第三小學校からは左の如く出演者並に曲目が決定した

圖畫協議々案 既報來る十一月十六日より三日間福島市に於て開かれる縣初等教育研究會圖畫協議會に出席する郡下各員の

勸誘中

兒童競技準備 既報來る二十一日磐中グラウンドに於て開催される第三區平町外十五校小學兒童競技會の委員會は本日午前九時より平第一校に開き協議した

## 呼びもの、繼走に

けふ磐女運動會の盛況

4好問

シネマ週報

十八日

昨日雨に祟られ延期された磐女第二十一回磐女運動會は本日午前八時より櫻ヶ丘グラウンドに於て會長正木貞二郎氏の開會の辭に次いで體育歌を合唱學年對抗及び小學校兒童四百繼走の優勝旗返還あり直ちに競技に入り雨模様曇天ながら觀衆は場内を埋めた今大會の呼物小學校兒童の百米並に四百繼走は午前十時半勇ましくスタートを切り各校より押掛けた應援團の聲援裡に華々しく行れ小々な選手選はいつれも母校の榮譽を荷つて力走したが戦績は左の如く各二着迄が決勝戦に出場する事になつた尙遠來の茨城縣松原校は三着になり惜しくも敗れた(正午記)

△百米(K組)1平第二十五秒 2赤井第二三好問 4飯野(B組)植田十五秒 2大浦 3平第三

△四百米繼走(A組)1平第三一分零秒七 2植田 2松原 4飯野 5四倉 (B組)1平第二一分一秒 2大浦 3赤井第二

△新川町二二 常吉長男吉田増造氏三女ヨネ子さん △才穂小路四 當時双葉郡廣野村沼田唯一郎氏長女正子さん △長橋町二二 大谷健一郎氏二女時子さん

△世界館 寬壽郎プロ 並木鏡太郎監督 嵐寛壽郎主演「松五郎鴉」前篇◎新興現代劇 小杉勇 中野かほる主演「心の波止場」◎松竹下加茂サウンド版 林長二郎 林敏夫主演「夜襲本能寺」◎餘興加賀家光子の漫劇と萬才 △平館 日活時代劇 荒井良平監督 杉山昌三九主演「仁俠二筋道」◎チャップリン映畫「チャップリンの質屋」◎日活現代劇 熊谷久虎監督 夏川大二郎 市川春代 中田弘二主演「三家庭」

△平町人事 回出生

# 銀紙愛國運動に

## 近く平町も参加

### 煙草や菓子包装の廢物包裝で

#### 飛行機を建造する

今流行の銀紙愛國運動が近く平町にも現れる。平町役場では大日本義勇飛行會から煙草やチョコレート等に使用した包装銀紙蒐集方を依頼されたので各小學校と協議の上兒童にこれを奨励せしめ銀紙蒐集による國防運動に参加させる筈である。

大日本義勇飛行協會は皇太子御降誕を奉祝記念する

るため小學校と提携して防空を目的とする國防團體でさきに東京横濱川崎三市の小學生が蒐集した銀紙を以て神奈川縣厚木町に飛行場格納庫を建設義勇號戰鬥機三機を常備したが更に全國小學校に檄を飛ばして一大發展を企畫し平町にも依頼してき

# 老ひの喜び

## 嫁入前の娘達が

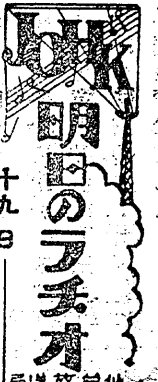
### 心からなる招待

#### 昨日恒例の敬老會

高齢者の餘生を樂しむよすがにも恒例の平町女子青年團主催第六回敬老會は神嘗祭の佳日を下して昨十七日午前九時から平第二小學校で催された、この朝老人の身を念じて女子青年團から差廻された數臺の自動車は町内各高齢者宅を廻つて會場へと走りそぼ降る雨を他所に集う老人達何れも元氣で開會前早くも齒の無い口許をモグ／＼させながらけふの日の喜びを語り合ふ微笑ましい風景を見せ副團長

橋本キン氏の挨拶其他型通りにも式も了つて餘興に移つたが可愛い、兒童の遊戲に相構を崩し、耳に馴染んだ義太夫に老ひの眼をしばた、き團員手料理の赤飯に舌鼓を打ち、菓子折や養老杖のお土産に大ニコ／＼で正午閉會したが参列の高齡者いづれも大満悦の態であつた因に八十歳以上の高齡者左の如し

(才穂小路)吉畑ハツ 千葉すみ 笹生精助 同ヒサ(材木町)長瀬きり(紺三小學校六年生數名は来る



明日のラジオ 十九日 天候 今夜も明日も北西の風 今晩は小雨模様 明日は天気よし

# 今晚の部

後六〇〇 子供の時間  
お話し「チンドンを訪れて」  
岩橋繁雄  
後六二五 英語講座(三)  
の三)岡田哲蔵  
後七三〇 講演「吾が村が更生するまで」安田秀信外一名  
廿八日磐城高等女學校の音楽會に餘興として唱歌遊戯

# 好成績の義捐金

## 昨日を以て締切る

累計一千二百餘圓に達す

平町が全町各區に割當募集中であつた近畿地方風水害義捐金は昨日を以て締切つたが各區合計は一千三十一圓二十四錢の外平消防組の百五圓八十四錢を筆頭に百七十三圓六十四錢の一般寄附あり累計一千二百四圓八十八錢に達したので兩三日中に發送の豫定

# 母校講堂

## 櫻ヶ丘會の音楽會

既報来る十一月四日ジェームスダン同道子夫妻の一行を招く櫻ヶ丘會の音楽會々母校講堂と決定大人五十錢、小人十錢の會費を徴收し費用の一部に當てる

# 明日の部

前六、三〇 基礎佛語講座  
(一)目黒三郎  
前七、〇〇 聖典講義 阿合經四友松圓講 阿前一〇、三〇 家庭科學講座「榮養」グイタミンの語「農學博士鈴木梅太郎」ラリネット 小篠春夫中山義雄  
後一、五〇 野球試合實況豫備日  
後二、〇〇 家庭講座「世界インフレーション」の展時頃平町世界館前に在つた同町七丁目伴喜三治所有の自轉車一臺價格十圓を窃取そのまゝ乗逃げ同村上湯長谷地内に投棄したが最近同自轉車を発見した同村某が駐在所に届出たことから發覺十五日平署に檢舉された

# 足袋代金

## 六百五十圓

永戸村合戸生れ當時仙臺市名掛町福助足袋販賣會社外委員合津益行(三)は去月十日

# 柳下氏昨夜長逝す

平町紺屋町前町議柳下元吉氏は永らく病氣靜養中であつたが昨夜七時心臓麻痺の爲に遂に長逝した同氏はもつと下駄商を營み營業に精勵して其の後換材工業を経営し事業頗る旺盛を極め成功者の一人を以て目されるに至り公共に盡瘁するところも少くなかつたが志半ばにして病を得専ら病床にあつて敬神尊祖の道にいそしみ平町福内會を組織して縣社子會神社々頭に豆まき會を創始する等種々この方面へ大きな働きを發揮し名物的の存在として人々の信望を集めてゐた(享年五十六)

# 墓參を口實

## 平町月見町佐藤鐵工場見習工永戸村大字下永井生れ熊谷政直

(九)は去月二十五日實家に墓參に行くと稱し歸宅したまゝ行方不明となつたので搜索中のところ去る十五日實家の祖母ますい(七)に宛て埼玉縣川口局消印の手紙が到着したので十九日平署へ取押手配方を願出た

# 藤棚の思ひ出に

篠山校長謝恩會、平第一校長篠山廉氏が平小學校の訓導時代にその董陶を受けた平町佐川三良、好間村木田昌利の兩氏其他は昨日恩師を招き平窪村に松茸狩を試み夕方から住吉屋本店に於て謝恩會を催した

# 自轉車乗逃げ

村大字下湯長谷一丁目六四農前科一犯坂本良平(三)は去る七月二十九日午後十一

# 浮名新頭

田邊南龍(作)  
山本英春(書)

一六一

「貴公の悪行は實に古の熊坂長範、石川五右衛門にも劣るまいと存じますが、過ぎ去りし事は今は是非に及ばず、然し之よりは懺悔、精進、只管向上の一路を望んで、是心是佛の妙諦を味はれよ、ソレ眼底塵なれば三界寛」と一喝を與へまして

「云はる通り此の金子は罪業に死せし人々の亡霊を弔ふ費へに致すであらう」「有難さ仕合せにございませ、之にて思ひ置く事は少しもございませ、いつまで御傍にをりますもお名残は盡さず時刻遅れて、歸途小役人の爲めに捕へられるも恥辱、又それを拒めば由なき罪を重ねなければなりません故、早速お暇いたし、明朝拂曉を待つて町奉行所へ自訴いたす事に仕る……」

「左様な譯ならお引止め致さん途中を附けて参られよ」と、瑞川は權八を伴ひ表へ立出で、門を潜りを開いて、あたりにもなき様子に安心をして權八を差招く。權八は數多度黙禮をして、其の儘ドン／＼道を急いで

江戸の方へ戻つて行きます。瑞川は暫らく權八の後姿を見送つてをりましたが、應て夫も遠のきましたので、涙を拭ひ、門の内に入り締りを致さうとした時に、物

長兵衛と申す者にございませ。オウ、長兵衛殿か、夫は又珍らしいお人、只今お開けいたす此方へお入りなさい。再び潜り戸を開いたので長兵衛内へ入る。「此方へ」案内をして来たのは己の居間で今權八が座つてゐた處へ長兵衛が座り「始めましてお目通り致します豫て權八が一方ならぬ



影よりバラ／＼と現れまし一人の侠客風の男「アイヤ御坊、暫らくお待ち下さい」瑞川ハット思つたが「何人ぢや」「手前は江戸花川戸に住居をします諸家様へ人入れ稼業を致してをります幡隨藏

御情に預かりましたる由、私よりもお禮を申し上げます。今日權八私の處へ暇乞ひに参り、之より御寺へお伺ひ致すと申してをりましたが又未練が出て、心得違ひを致すやうな事があつてはならんと存じまして、見え隠れに後をついて参りました

る處、眞實覺悟いたしたものと見え、御寺へ参上いたしましたは、私としても此上なき喜びでございませ。それは親切の事ぢや貴郎も元は他人にして、ぶとした縁が因にて權八の面倒を見ておやりなされたさうぢやが、私も彼の男の度胸やら文武に勝れしを惜み何卒天晴の武士に救ひ上げてやりたいと存じたが、餘りに犯せし罪の重い故夫もならず實に残念に心得てをる。就きまして私からお願ひでございませが、間もなく權八も御處刑になりませう一度兄弟とまでなりました私、せめて亡骸を懇に葬つて遣はしたいと存じます。天下の罪人迂濶には頼めません、如何でございませう私の子分の者に言付け、亡骸をお寺まで擔いで遣させますが御寺内に葬つてやつて下さる譯には参りませういか」

## 秋!!! 酣の秋!!!

ドライア……訪問……には是非! 素晴らしく乗心地のよいセリザワのニューカーを!

### 女事務員募集

希望者は至急來談あれ……  
年齢十六、七歳より二十四、五歳迄  
給料面談

御用命下さい「電395番」

平・三 芹澤タクシー

# お醤油は……ヤマフル

醤油味噌  
たひら 正宗  
鯉節 食料品

## 金山崎合名會社

福島縣平町(電話營業部二〇 造工場三)  
明治生命磐城代理店 山崎 與三郎

時計 計橋高  
蓄音器  
レコード  
眼鏡類  
懷中電燈  
店計時橋高

木村科醫院  
平町六丁目橋際  
電話三〇九番

豫て御高評を蒙り居り候江の島料理本店自慢の水たき相始候間一層の御評判被下度候  
尚ほ季節料理として松茸料理も種々仕可候へば宜敷御賞味の程御願ひ申上候

### 住吉屋本店

此度槍舞臺を宴會場に設けました何卒御利用下さ

銀座へ和越の節は是非會館へ  
獨特な奉仕献立  
紅茶 一〇  
一品料理 二〇  
ランチ 五〇  
御宴會 和集會 御相談次第  
電話三五〇

## 中村齒科醫院

平町 鍛冶町七